

泊まれるアート！ホテル客室の壁をアーティストが壁画のように装飾
Artist in Hotel “アーティストルーム 芸者金魚” が完成しました。

水槽という御座敷で遊ぶ、芸者の出で立ちをした金魚。ここで見る夢はうつし世の暗示か恋の予感か。

パークホテル東京（汐留メディアタワー内）は、客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。2016年には31階フロアの客室すべてを改装するべくプロジェクトが進行中ですが、このほど12室目の「アーティストルーム 芸者金魚」が完成いたしました。

※注1

「Artist in Hotel」とは、いわばArtist in Residenceのホテル版。アーティスト自身がホテルに滞在し実際に施設やサービスを利用しながらその場の空気感を感じ取り、ホテルの客室を作品として制作すること。「日本の美意識」を大きなコンセプトに据え、壁画のように部屋の壁紙に直接絵を描いたり、原画やオブジェを壁に設置したりと、出来上がったお部屋は丸ごと、アーティストの世界観が伝わるお部屋となります。「相撲」や「禅」といった、日本にまつわるテーマで制作され、主に海外からのお客様に向けて販売、ご好評をいただいています。

12室目は「金魚」をモチーフに画家の成田朱希さんが2014年7月30日から制作をスタート、2015年2月13日に完成いたしました。※注2

「窓から外を眺めたときに、水槽の中にいるようなイメージが湧いた」という成田さん。客室を水槽に見立て、このプロジェクトでは初めての画材となる油絵の具で壁紙に挑戦、7か月という時間をかけて、赤い金魚を壁面のみならず天井にも作画いたしました。まるで宙に浮かんだ水槽という御座敷で遊ぶ、芸者の出で立ちをした妖艶なる金魚たち。縦横無尽にひらひらと泳ぐ金魚が、部屋にいる人間に不思議な浮遊感を感じさせてくれます。「古来、縁起物として名高い金魚に囲まれた部屋で見る夢が、宿泊するお客様に幸運をもたらしますように」という思いで描き上げました。

ここで見る夢は、うつし世の暗示か恋の予感か。
アーティストルーム「芸者金魚」で素敵な夢をご覧ください。



アーティストルーム 芸者金魚 内観

「アーティストルーム 芸者金魚 Artist Room Geisha Goldfish」概要

宿泊開始：3月2日(月)より WEBサイト上（英語/日本語）、またはお電話にて販売中
部屋タイプ：アーティストルーム ダブル 広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950
販売料金：1室2名利用 35,000円（税金・サービス料・宿泊税込）
ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイトURL <http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

【協力】不忍画廊 【総合プロデュース】creative unit moon (<http://www.moooon.jp>)



窓枠の金魚と東京タワーのコントラストが美しい



油彩ならではの細かい描写



まるで金魚が流れに乗って泳いでいるよう

成田朱希／なりたあき 略歴

1966 青森生まれ。幼少時から漫画、絵本等を手本に独学で絵を描き始め、人形作家の兄の影響で文学・画集を見るようになる。二十歳頃青森から上京、美術評論家ヨシダヨシエ等と出会い「画家」として歩み始め、その後も細江英公、秋山祐徳太子、平賀敬、工藤哲巳など大御所アーティスト達と二十代から交流、芸術の質を高めている。現在、個展・企画展・挿画等で作品を発表している。



制作中の成田さん

注1：出来上がりは12番目ですが、スタートしたのは9番目です。

注2：当ホテルに滞在したり、通ったりしながら制作いたしました。

★ 3/4 現在、日本画家の水口和紀さんが「城」をテーマに作画中です。

★ 3月末からは「鯉」をテーマにしたお部屋の制作もスタートします。制作中のお部屋の見学・取材も承ります。

＜本件に関するお問い合わせ＞

パークホテル東京 マーケティング部 広報：早乙女

Email：sotome@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー
TEL:03-6252-1111(代) FAX：03-6252-1001 PHS：070-5368-7440